

薬王寺通信

令和2年 夏号(7月1日発行)

編集・発行 住職 泰博

コロナ禍におけるの葬儀・法事について

昨年12月より中国・武漢において発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が中国のみならず全世界に感染が拡大し、日本も例に漏れず全国各地に広がり、4月7日には兵庫県が「緊急事態宣言」の対象地域となり、私たちの生活が極度に制限されました。檀家の皆様の中には「緊急事態宣言」の発出で大変苦しい思いをされているかと存じます。5月21日には解除されましたが、元通りの生活に戻るのは、中々容易ではありません。

政府は新しい生活様式での活動を推奨しております。当寺と致しましても、葬儀・法事に対してある程度方針を定めたく存じますので、以下の通りにさせていただきます。

葬式(「緊急事態宣言」発出時)

- ・基本的に遺族のみの参列
 - ・親族は近場の方々は参列していただき、遠方(島外)の親戚は可能な限りオンラインを用いての葬儀参列
- 但し、近隣の葬儀屋さん(えにし・丸和)ではオンラインの設備はないとのこと
オンライン会議システム「ZOOM」やコミュニケーションアプリ「LINE」等を用いての参列になります(寺でも出来る限り対応致します)

万が一故人が新型コロナウイルスに感染していた場合

- ・病院から葬儀屋さんが引き取りにいき、火葬場へ直行し先にご遺体を火葬
 - ・お骨上げの後、2週間の自主隔離の上、骨葬(お骨を前にして葬式を執り行います)を行う
- この場合、骨上げ後に葬儀屋さんが寺へお骨を運び、本堂において住職が引導作法を修し、その後また引き取りにきていただき、遺族の元へお返しします

法事(「緊急事態宣言」発出時)

- ・基本的に遺族のみの参加
- ・遠方の親戚は可能な限りオンラインでの参加
- ・隣保の方々は可能な限り、参加をご遠慮いただく
- ・参加者は極力マスク着用
- ・隣同士、間隔を空けて座る
- ・真言の本を用いての読経は少量の音量にて唱える
- ・塔婆供養に変更可能
- ・法事が始まる前に手指消毒を行います。消毒液は住職が持参します。
- ・法事後の食事は、できるだけ持ち帰りできるもの(弁当など)を推奨します
- ・自宅の仏間が狭い場合、薬王寺本堂にて法事を執り行うことは可能
その場合、マスク着用・窓を開ける・手指消毒を行う・間隔を空けて座る、といった対策のもと法事を行います
住職は読経中のみマスクを外させていただきます

「緊急事態宣言」解除時

喪主・施主様と、その時の状況を見ながら、臨機応変に対応していきたいと存じます。

総本山金剛峯寺からは、

- ・密閉空間とならないよう換気をこまめに行う
- ・密集場所とならないよう参拝者の人数や間隔に注意する
- ・密接場面とならないよう檀信徒の距離を2メートル以上おくよう注意する

上記の密を避け、檀家の皆さんとの相互理解の上で行ってくださいという大まかな方針だけですので、今回当寺独自の葬儀・法事の執行方法を考えました。

他寺院ではやっていなくて、当寺のみで行っているかもしれませんが、ご理解の上ご協力いただけたら有り難く存じます。上記の方法が適切かどうかはわかりませんので、喪主・施主さんとよく相談した上で、随時臨機応変に対応していきたいと存じますので、ともに手を取り合っこの困難な状況を乗り越えていきましょう。

また私自身、菩提寺としてできることはないかと考えまして、全檀家に使い捨てマスクを各5枚配布することに致しました。5枚ほどにはなりますが少しでも役に立てれば幸いです。在所の方は評議員さんに配布物と共にお渡ししていただきます。また地域外の方は配布物と共に封筒で発送させていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

本年 **ひとぼし** を迎えられる新精霊

ひとぼしの法要は、まず新しく先祖に加わった新精霊を、初めてお迎えする行事の事です。葬儀で引導をして彼岸へ渡られた新精霊は、この8月に彼岸に渡ってから初めて帰って来られます。途中道に迷わないように、各灯笼木を建てて新精霊を案内します。また途中餓鬼に邪魔をされないように、縁側の外に水棚を作り、施餓鬼をして餓鬼を一ヶ所に集めます。これが各家庭でのひとぼし法要で、8月1日から10日までの間に行います。初めて帰って来られる新精霊は、やはり初めて彼岸に帰ります。その時も餓鬼に邪魔をされないように、8月16日に寺で施餓鬼会を執行して、無事に彼岸へ着くことを祈ります。多くの方に施餓鬼をしてもらう事がより多くの餓鬼を集めることになり、良いこととされていますので、家族・縁者・近隣・友人など普段の法事よりも多くの方が供養をします。

今夏、ひとぼしを迎える新精霊は次の通りです。

命日順・敬称略

弘法大師降誕会

7月15日

会 所 萬勝寺

例年行っています「宗祖弘法大師降誕会」を、本年は阿万萬勝寺にて執行致します。当日はお大師様の誕生をお祝いする法要が行われ、途中甘茶を稚児大師に掛けて、皆でお祝いをします。

当日は教区参与会の総会(12:30開始)も合わせて行います。

13時から法要、14時から法話と福引きが行われます。今年は神戸須磨寺副住職 小池陽人師が法話を致します。何かとお忙しい時季ではございますが、是非ともご参加下さい。

十二薬師夏祭り

本年も7月12日(日)に夏祭りが行われます。当寺の本尊・薬師如来は12日が縁日になっており、毎月12日は「十二薬師」ですが、7月はその夏祭りになっています。午後7時より、本堂内に於いて「護摩供」を行います。添え護摩木にお願い事をお書き頂ければ、護摩供の時に祈願致します。7時までには本堂前でお書き下さい。1本200円です。

尚、7月1日開催の総代会の協議において、夜店の自粛を決議する場合もございます。予めご了承下さい。夜店についてはお寺までお問い合わせ下さい。

大般若祈禱会

7月12日

午後2時より

そもそも、大般若祈禱会は寺で祈禱するものではなく、社頭(神社)で行われていました。江戸時代頃から神社が、本地垂迹の思想によって、仏様が日本の神様に姿を借りていると考えるようになったのと、小さな神社には神官がない為、寺の住職(主に真言宗・天台宗)が「別当」という名で、神職を兼ねていたのが、明治時代になって「廃仏毀釈」が行われて、神仏が分離されたのですが、長らく大般若などの法要を行っていなかつた為、引き続き寺に変えて行っていました。ちなみにですが、薬王寺にある大般若経600巻は元福良八幡神社にあったものです。

大般若のお札は、施主が「筒井自治会」ですので、筒井地区だけに当寺のお札を配っています。もとは玄関に貼る木の札だったのですが、最近では紙の札になっていますので、柱などに貼って頂けたらと存じます。

お盆の棚経

8月9日～14日

お盆の棚経を本年から8月9日から14日の間に行います。大雑把な予定は下記の通りです。時間がおす場合もございます。

現状、今まで通り行います。ただ、「緊急事態宣言」が発出されれば、仏間に入らず家の外(縁側)からのお参り方法に変更させていただきます。その場合はハガキにてご連絡致します。

- 9日 午前9時～正午過ぎ
伊賀野・古池・八ツ又・新田中・生子
- 10日 午前9時～正午頃
新田北・畑処
- 11日 午前9時～正午頃
山路・大久保
- 12日 午前9時～正午頃
西処
- 13日 午前9時～正午過ぎ
北処・寺町北・東畑・寺町・畠中
午後3時15分～午後5時
福井・賀集・阿万・潮美台
- 14日 午前から
鮎原・島外

変更箇所が多数ありますので、詳しくは別紙に載せております棚経順番をご参照ください。福井・賀集・阿万・潮美台地区の檀家には個別にハガキにて時間をお知らせします。

施 餓 鬼 会

8月16日 午前10時より

薬王寺本堂において施餓鬼法要を執行致します。初盆を迎えられた新精霊のご家族にお参り頂き、彼岸へ帰られる新精霊の為に供養を致します。

各家先祖供養会

8月15日 午後7時より

棚経でお配りした「経木塔婆」を午後7時までに、受付の間・玄関に設けております箱にお納め下さい。お墓や古札箱に納めないで下さい。

秋の住職不在について

一昨年に、10年に1度行われる高野山での大変厳かな儀式「学修灌頂(がくしゅかんじょう)」に長期間にわたり出仕致しました。大変良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。この時はご迷惑等おかけ

したと思いますが、本年も8月末から10月初頭までの約40日間、高野山の儀式「勧学会(かんがくえ)」に修行僧として参加させていただくことになりました。

私は、約7年半の間、高野山において勉学・修行に励んでおりました。高野山には一人前の僧侶になるための修行とは別に、お大師様の書物を元に議論を戦わせる儀式「勧学会」というものがあります。江戸時代以前は、この勧学会を経ないと、高野山の僧侶とは認められませんでした。現代においてはそういうことはありませんが、やはり7年半いた中で、そういった儀式にもふれ自己研鑽に努めたい、またこの勧学会を経ることで高野山の着用が許可される「黒袈裟(くろけさ)」に長年憧れを持っていました。

この勧学会は2年連続で参加しないといけない決まりとなっており、来年の秋頃、再び約25日間高野山へ行くこととなります。檀家さんには迷惑をかけてしまうばかりで、正直自身のわがままで寺を空けてしまうのは心苦しいのですが、年齢的・体力的・環境的に考えますと今回はギリギリのタイミングかなと思いますので、ご理解をいただきたく存じます。宜しくお願い致します。

この勧学会が始まってしまうと、期間中高野山を下りられないので、私が不在になる約40日間、葬式や法事については下記の要領でお願い致したく存じます。

- ・葬儀、法事は実家の萬勝寺に依頼
(葬儀屋【えにし・丸和】から萬勝寺へ連絡がいく手筈になっています)
- ・葬儀、法事に関する相談事はご足労おかけしますが、阿万の萬勝寺までお願い致します
- ・葬儀内容に関しては薬王寺の今まで通りのやり方で行って下さい
但し、葬儀での助法僧【鉢突き】は必ずつきますので、この点のみはご容赦下さい)
- ・お布施は萬勝寺にお納めください
(金額についてご相談ある方は、事前に寺までお問い合わせいただけたらと存じます)
- ・仏具の貸出は、萬勝寺に寺の鍵を預けておりますので、相談の上薬王寺まで借りに来て下さい
- ・初七日以後の法事は自宅にて執り行っただく旨、伝えております

連絡先

- ・住 職 090-3678-7866
- ・萬勝寺 50-5050・090-3289-3502

但し、修行中の為電話に出られないことが多くありご迷惑をおかけしますが、ご理解の程宜しくお願い致します。